

6つの視点での評価に係る事務局整理表

資料2-4

番号と評価事項 (※計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)	R2年度(2020年度)評価								(参考)前年度	
	大学 自己 評価	6つの視点の評価(案)						該当 なし	大学 自己 評価	6つの 視点
		顕著	独自	新規	着実	注目	課題			
1 国の高大接続改革に伴う大学入学者選抜改革への対応	A							○	A	
2 留学生サポーター制度の創設 環境共生学研究科における水銀研究留学生への博士号授与	A			○	○				A	着実
3 大学院の入学者確保に向けた取組の推進	B							○	B	課題
4 県立大学独自の「もやいすと育成システム」や 「学生GP制度」を通じた地域の諸課題を題材とする教育の推進	A		○	○	○	○			A	顕著
5 もやいすとグローバル育成プログラムの推進 社会人特別選抜(国際協力枠)創設後初の合格者誕生	A		○						S	新規
6 英語を含む外国語教育の改善	B							○	A	
7 学生の英語能力の向上に向けた取組の推進	A			○	○				A	
8 学修成果の可視化と適切な評価に向けた取組み	A							○	A	着実
9 全学部全学科(環境共生学科食健康環境学専攻を除く)への キャップ制導入	A							○	A	
10 個人指導や試験対策講義による第35回管理栄養士 国家試験合格率97.5%(不合格者1人)の確保	A				○				A	顕著
11 中期的な人事計画に基づく教員採用の実施	A							○	A	
12 全学、学部、研究科におけるFDの実施	A							○	A	
13 共通教育センターの設置決定	A		○						A	着実
14 ボランティア活動や課外活動の活性化に向けた課題への対応	A							○	A	
15 修学支援法施行初年度における授業料減免等の 学生支援の適切な実施	A				○				A	
16 学生の心身に係る健康支援と修学支援への取組	A				○				A	着実
17 新キャリアデザイン教育課程実施に向けた検討	A							○	A	着実
18 学生の就業力の育成と県内就職の促進の取組み	A							○	A	着実
19 各研究科における地域課題に貢献する研究の推進と成果の発信	A			○	○	○			A	着実
20 科研費への応募率が8年連続で100%達成	A	○							A	顕著
21 共同研究等の外部研究資金獲得による研究水準の確保	A							○	A	
22 研究支援体制や支援策の検証・課題解決に向けた取組み	A							○	A	
23 学術情報基盤の充実・アーカイブ資料のホームページでの公開	A							○	A	
24 地域おこしスタートアップ事業や被災地域復興・再生支援事業 等の展開による地域貢献の推進	A		○	○	○	○			A	着実

番号と評価事項 (※計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)	R2年度(2020年度)評価							(参考)前年度	
	大学 自己 評価	6つの視点の評価(案)						大学 自己 評価	6つの 視点
		顕著	独自	新規	着実	注目	課題		
25	「地域に学び、地域に伝える」を基本理念とする「食育ビジョン」の推進	A			○	○		A	着実
26	共同研究・受託研究の継続的な実施	A					○	A	
27	コロナ禍における地域の様々なニーズに応じた学習機会の提供	A					○	A	注目
28	海外留学・研修メニュー等の充実	B					○	A	
29	学生の留学支援策（経済支援、危機管理対応等）に係る検討・周知	A					○	A	着実
30	様々なイベントを通じた学生の国際的視野の涵養への取組み	A					○	A	
31	留学生受入プログラムの検討・整備	A					○	A	独自
32	海外協定校等との研究者交流や共同研究等の実施	A					○	A	
33	理事長と学長による政策的、効果的な大学運営と新型コロナへの対応	A			○			A	着実
34	全学教育推進センターの見直し（共通教育センターの設置） 緑の流域治水研究室の設置	A	○					A	着実
35	計画的なSDの実施	A			○			A	
36	個人評価制度等による教員の教育研究活動の評価と改善	A					○	A	
37	女性教員比率20%以上に向けた取組の推進	A					○	A	
38	プロパー職員の人材育成に係る取組の推進	A					○	A	着実
39	アクションプランの策定・実行による業務改善や 時間外勤務削減の取組み	A			○			A	着実
40	入学志願者の水準維持 学生納付金の安定確保と社会状況等に応じた改定の検討	A					○	A	
41	共同研究等の外部研究資金獲得による財政的基盤の強化	A					○	A	
42	熊本県立大学未来基金の活用	A					○	A	
43	経費節減に係る取組の点検・改善と 効率的な運営及び経費抑制の実施	A					○	A	
44	大学の諸活動に係る点検・評価と改善の取組み	A					○	A	着実
45	教育研究活動及び新型コロナウイルス感染症対策等に係る 積極的な情報発信	A			○			A	
46	施設設備の適正な維持管理と計画的な整備改修の実施	A					○	A	
47	情報セキュリティ対策の強化	A					○	A	着実
48	新型コロナウイルス感染症に対する事業継続対応も含めた 防災・減災対策の強化	A			○			A	
49	教育員の心身の健康相談・健康管理等の取組み	A					○	A	
50	パワーハラスメントを中心とした意識啓発等の取組み	A					○	A	

1	5	5	14	4	1	31
顕著	独自	新規	着実	注目	課題	該当 なし